

## くまびょう

120号

NEWS

くまびょう  
NEWS2007年  
6月1日

[発行所]

国立病院機構熊本医療センター

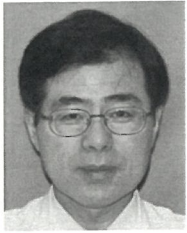
〒860-0008

熊本市二の丸1番5号

TEL (096) 353-6501代

FAX (096) 325-2519

## 内視鏡室が新しくなりました



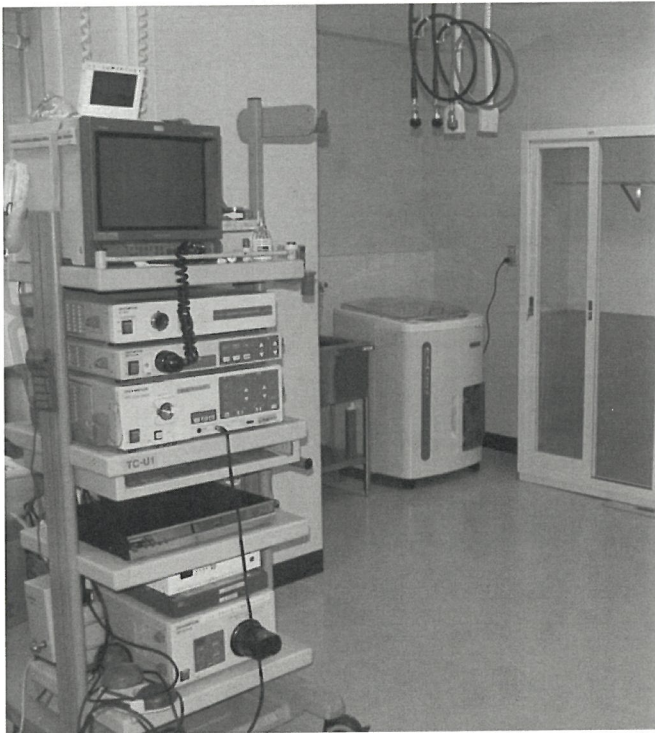
消化器病センター  
消化器科医長

杉 和 洋

この度、内視鏡検査室が5月7日より装いを新たにしました。これまで救命救急センター・外科・整形外科・脳神経外科外来待合いの角にあった肥後銀行ATMが、外来総合受付インフォメーションセンター奥の公衆電話ボックスの隣に移転し、それに伴い跡地を利用

して内視鏡室が拡張されました。工事は患者様ならびに職員の迷惑にならないよう4月末からの大型連休を利用して行われました。拡張した内視鏡室には救急患者の搬入を容易にするため新たに角側に出入り口を設けました。これまで使用していた電気機械式吸引をすべて中央配管吸引とし、新たに酸素配管を増設し高リスク症例の検査・治療に対応しています。洗浄機、流し台を増設し、効率的な検査・治療を目指しました。さらに空調設備の拡充、閉鎖式吸引廃棄システムの導入および内視鏡ロッカー増設により、清潔かつ安全な検査・治療環境を提供します。

今後内視鏡検査システムが増設される予定で、この改装と併せ、現在増加しつつある緊急内視鏡検査・治療症例に対し安全かつ迅速な対応が可能になります。高度で安全かつ良質な医療を提供できるようスタッフ一同邁進する所存です。引き続き症例のご紹介ならびにご指導の程宜しくお願い申し上げます。



リニューアル後の内視鏡室



消化器病センタースタッフ一同

ホームページをご利用下さい。診療、研修、研究など情報満載です。

国立病院機構熊本医療センター ホームページアドレス <http://www.hosp.go.jp/~knh/>



## 「糖尿病のある幸福な人生」

医療法人社団陣内会

陣内病院

院長 陣内 秀 昭

国立病院機構熊本医療センターは宮崎久義院長のもと各科が充実し、教育面や高度先進医療でも多大な貢献をされ国際的な取り組みも数多くなされている先進医療機関で、九州を代表する基幹病院です。私にとりましては研修医としての1年間を過ごさせて頂いた懐かしい場所でもあります。寄稿の命を頂きました池井聰先生には医学生時代より今に至るも折に触れ御教示を頂いており、研修当時より血液内科におられた河野文夫先生には直接御指導頂き大変御世話になりました。この場を借り篤く御礼申し上げます。

当院は前院長のもと「糖尿病のある幸福な人生」をモットーに糖尿病治療をおこない30周年を迎え、4月より院長交代し引き続き糖尿病治療に専心しております。糖尿病細小血管合併症である末梢神経障害、網膜症、腎症に対して神経内科、眼科、透析施設を設置しその発症予防に努めてまいりましたが一

方アウトカムを検討しますと糖尿病における大血管合併症予防の重要性も課題として浮かび上がりました。そこで1.5T-MRI、64列マルチスライスCTを設置し大血管合併症撲滅とその治療戦略に必要なエビデンスを構築すべく職員一丸となり取り組んでいるところです。

私自身熊本生まれの熊本育ちで高校、大学、大学院も熊本です。地域に根ざし当院を信頼し受診して頂いている患者さん方のために尽力し、大血管イベントで貴院での救急の負担をかけることのないようにと考えております。

日本人糖尿病における合併症についてはカットオフ値が明確にされていないものも多く欧米人での数値をそのまま全て日本人に当てはめることが出来ず、その一例について昨年米国糖尿病学会で口演発表しました。今後も軽症糖尿病あるいはメタボリックシンドロームにおける危険因子管理による合併症予防、糖尿病療養指導士育成強化、糖尿病体質因子解明のためのゲノム解析などを課題として実態に即した糖尿病治療をすすめたいと考えています。

医療崩壊が叫ばれている中で慢性疾患医療も大変厳しい環境下にあります。貴院勤続10年近くなります弟ともども宜しく御願い致します



## クリティカルパス研究会開催のご案内（公開）

第48回研究会 2007年8月1日（水）18：00～19：30

第49回研究会 2007年9月12日（水）18：00～19：30

第50回研究会 2007年12月12日（水）18：00～19：30

第51回研究会 2008年2月13日（水）18：00～19：30

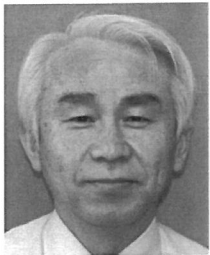
上記研究会へ参加を希望される方は、往復葉書に参加したい研究会の期日と連絡先（勤務先、所属、住所、氏名、TEL、FAX、E-mail）を書いて下記までお申し込み下さい。各回先着30名。参加費無料。

<お申し込み先>

国立病院機構熊本医療センター地域医療研修センター事務局

〒860-0008 熊本市二の丸1-5 TEL096-353-6501（代表）内線263 FAX096-352-5025

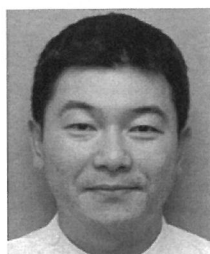
E-mail mng.kumamoto@deluxe.ocn.ne.jp



**片瀨 茂**  
外科一般、消化器外科、肝胆膵  
内視鏡外科、外科感染症  
日本外科学会認定医  
日本外科学会指導医  
日本消化器病学会専門医  
日本消化器内視鏡学会専門医  
インフェクションコントロールドクター



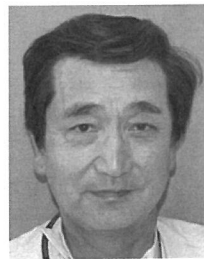
**栗崎 貴**  
外科一般、消化器外科  
乳腺内分泌外科、内視鏡外科  
日本外科学会認定医  
日本外科学会専門医  
外国医師臨床習練指導医



**田中真一郎**  
外科一般、消化器外科  
胸部外科、乳腺内分泌外科  
救急医療、乳腺外科  
日本外科学会認定医  
日本外科学会専門医  
マンモグラフィー読影試験成績認定医



**保坂 征司**  
外科一般、消化器外科  
肝胆膵、救急医療  
日本外科学会認定医  
日本外科学会専門医



**池井 聰**  
外科一般、消化器外科、肝胆膵  
内視鏡外科、救急医療  
日本外科学会認定医  
日本外科学会専門医  
日本外科学会指導医  
日本消化器外科学会認定医  
日本消化器外科学会専門医  
日本消化器外科学会指導医  
日本消化器病学会専門医  
熊本大学医学部非常勤講師



**芳賀 克夫**  
外科一般、消化器外科  
内視鏡外科、内分泌外科  
外科感染症  
日本外科学会認定医  
日本外科学会専門医  
日本外科学会指導医  
日本消化器外科学会認定医  
日本消化器外科学会専門医  
日本消化器外科学会指導医  
日本消化器病学会専門医  
インフェクションコントロールドクター  
熊本大学医学部客員教授  
外国医師臨床習練指導医



**大堂 雅晴**  
救急医療、外科一般、消化器外科  
超音波診断、肝胆膵、内視鏡外科  
内分泌外科  
日本外科学会認定医  
日本外科学会専門医  
日本外科学会指導医  
日本消化器外科学会認定医  
日本消化器外科学会専門医  
日本消化器病学会専門医  
日本内視鏡外科学会手術認定医  
日本超音波学会指導医  
外国医師臨床習練指導医



**吉田 直矢**  
外科一般、消化器外科  
胸部外科、乳腺内分泌外科  
救急医療、栄養管理  
日本外科学会認定医  
日本外科学会専門医



**山本謙一郎**  
外科一般、消化器外科、乳腺外科  
内分泌外科、胸部外科、救急医療  
日本外科学会認定医  
日本外科学会専門医

(次ページへ続く)

## 2007年 診療科紹介(12) 外科続き



藏重 淳二  
外科一般、消化器外科



田中 秀幸  
外科一般

### 診療内容と特色

外科では、消化器、呼吸器、乳腺内分泌疾患を中心に幅広い分野を診療しています。

中でも「がん」と「救急」の診療に力を入れています。「がん」の診療では手術、化学療法、内分泌療法、放射線治療と集学的治療を行い、救急医療では緊急手術に積極的に取り組み、放射線科と共同で動脈塞栓術などのインターベンション治療も行っています。

また、県内では最も古くから腹腔鏡手術を導入しており、症例の蓄積により腹腔鏡手術には定評があります。特に、食道癌では胸腔鏡・腹腔鏡下手術により術後、手術室で気管内挿管チューブの抜管を行っており、

また早期胃癌に対しては小開腹を用いることなく完全鏡視下に切除吻合を行い良好な成績を収めています。さらに超音波検査、消化管内視鏡検査、消化管造影検査、ERCP、PTCD、胆管ステント挿入など検査や非観血的治療にも力を入れています。

### 診療実績

2006年の外科の入院患者数は1,274名であり、手術件数は677件でした。

悪性腫瘍の手術（その中の内視鏡手術数）は食道癌17（16）例、甲状腺癌9例、肺癌21（13）例、乳腺21例、胃53（9）例、結腸・直腸79（5）例、肝20例、胆嚢4例、胆管3例、膵3例などでした。緊急手術は175件と増加しており、鏡視下で虫垂切除術や十二指腸潰瘍穿孔に対する大網充填術なども行っています。このようにがん治療と共に、腹腔鏡手術等による低侵襲手術や、救急医療に積極的に取り組んでいます。

### 研究実績

臨床研究では全国の国立病院機構の53病院で当院が基幹病院となり予定消化器外科手術の技術評価に関する大規模研究を進めています。この他にも厚生労働省の各種のがん研究助成金班の班員として活躍しています。

### ご案内

午前中の診療は外来担当医が対応致します。また年中無休で回診とカンファレンス（平日は朝7時45分、休日は朝9時より）を行っています。24時間いつでも急患に対応できる体制を整えていますので、ご連絡頂ければ即座に対応致します。

### 外来担当医表

	月	火	水	木	金
外科外来	栗崎 貴	片渕 茂	池井 聰	栗崎 貴	吉田 直矢
	大堂 雅晴	田中真一郎	田中真一郎	山本謙一郎	保坂 征司
		吉田 直矢			

患者様の御紹介は、096-353-6501（代）片渕（内線733）、栗崎（内線735）、大堂（内線849）、田中真（内線661）、吉田（内線663）へ直接お電話頂くか、患者様へ紹介状を持たせて受診して頂いても結構です。時間外・休日は外科宛の紹介状を持参し救急外来を受診して頂くと、当番の外科医が診察し必要に応じて入院治療を致します。

## 帰任の御挨拶



総合医療センター

血液・膠原病内科

いの うえ よし こ  
井 上 佳 子

約2年間アメリカのオクラホマ医科学研究所で研究員として“がん”に関する基礎実験をしておりましたが、今回4月より再び国立病院機構熊本医療センターに復帰させて頂きました。

オクラホマと言ってもあまり馴染みがないところなのですが、アメリカ中西部に位置し、州都オクラ

ホマシティは50万人程度で、牛の数が人間の数よりも多いような田舎の州でした。アメリカ田舎生活の初めての半年は英語、アメリカの文化習慣、そして社会のシステムに慣れることに日々苦勞しましたが、いろいろな方々の助けもあり楽しい時を過ごさせて頂きました。また今回偶然にもオクラホマ大学病院の血液移植病棟に週1回ですがカンファランスに出させて頂き、アメリカの移植の一角ではありますが、見ることができとても有意義な時間を過ごせたと思っております。

臨床は2年ぶりでご迷惑をおかけするかと存じますが、皆様のご指導ご教授の程よろしくお願い致します。

## 新任職員紹介



形成外科

いけ やま ゆう こ  
池 山 有 子

4月より形成外科に勤務しております池山有子と申します。

熊本で勤務するのも住まうのも初めての機会です。過去11年間は山形で生活しておりました。1996年、新潟県立長岡高校を卒業、山形大学医学部に進学。2002年に山形大学整形外科に入局。以後5年間、大学病院

をはじめ山形県内各地の公立、県立、私立病院に勤務して参りました。

形成外科は、整形外科医局内にある形成外科分野で研修を受けておりましたが、形成外科としての技術を本格的に学び、臨床に携わりたいと考え、本年度から聖マリアンナ医科大学形成外科に入局しました。聖マリアンナ形成外科からの出向という形で、当センターにご縁を頂きました。

住む土地も所属医局、所属科もすべてが新しいスタートです。この新鮮な意気を忘れぬよう、かつ当センターにあるべき戦力になれるよう、精進致します。

皆様のご指導の程、どうぞ宜しくお願い致します。



総合医療センター

血液・膠原病内科

かわ きた とし ろう  
河 北 敏 郎

4月より血液・膠原病内科に勤務しております河北敏郎と申します。熊本大学医学部を卒業後、1999年に熊本大学第二内科(現血液内科)に入局致しました。以降、大学病院、地域医療センター、阿蘇中央病院、玉

名中央病院を経て2003年より熊本大学大学院で血液内科を専攻し白血病の研究を行って参りました。

当院は熊本県で唯一、成人の同種造血幹細胞移植を行っている施設であり、他の分野と同様、熊本県の血液疾患治療において重要な役割を担っています。私自身にとっても同種移植は初めての経験であり、救急医療も含め改めて、さまざまな事を勉強し直さなければならぬと感じております。

いろいろとご迷惑をおかけする事もあるとは思いますが、皆様のご指導をよろしくお願い致します。

### ■原稿を募集致します■

登録医の先生の投稿を歓迎致します。400～800字程度を基準にお願い致します。

送付先 〒860-0008 熊本市二の丸1-5

国立病院機構熊本医療センター 『くまびょうNEWS』編集室まで



## 総合医療センター

## 血液・膠原病内科

まつ い たか ひろ  
松 井 崇 浩

4月より内科系専修医として採用頂きました松井崇浩と申します。2005年に大阪大学医学部を卒業後、同年4月より広島県の国立病院機構呉医療センター・中国がんセンターにて初期研修を開始し、各科での研修を行いながら血液内科の基本的な研修を受けました。この度は骨髄移植を始めとして多数の疾患・症例数を

有する当院で採用頂きましたことを大変嬉しく思っております。

血液内科では突然の罹病にみまわれ長期に渡る闘病が必要な患者様が多く、その不安は相当なものであらうとお察し致します。個々の患者様に対し最善の方法を考えながら、患者様と共に疾患に向き合っている限りのお力添えをさせて頂きたいと思っております。また何分若輩者でございますので、血液内科の諸先生方とはもとより、他科の先生方、さらには関連医療機関の諸先生方にも多々ご迷惑をおかけすることになると思っておりますが、何卒ご指導ご鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。



## 外科

くら しげ じゅん じ  
藏 重 淳 二

4月より外科に勤務しております藏重淳二と申します。2004年に熊本大学医学部を卒業し、熊本大学附属病院、天草中央総合病院にて2年間臨床研修医として研修を行いました。

その後、熊本大学の消化器外科に入局し、熊本大学附属病院にて1年間、消化器外科として研修しました。当院に勤務して早くも2ヶ月が経ちます。

熊本大学でも厳しく忙しい毎日だったのですが、当院でもまた違った意味で充実した毎日をご過ごしています。スピーディーな手術、忙しい救急体制など戸惑う点も多いのですが、日々精進していきたく思っております。

いろいろとご迷惑をお掛けする事と思っておりますが、ご指導・ご鞭撻の程どうぞよろしくお願い致します。



## 外科

た なか ひで ゆき  
田 中 秀 幸

4月より外科系専修医としてお世話になっている田中秀幸です。

2005年に熊本大学医学部を卒業後、2年間の初期臨床研修を今年の3月に終了しました。初期研修1年目

を当院の外科、麻酔科、救命救急、内科でローテーションし、2年目は熊本大学附属病院で産婦人科、小児科、精神科等で研修を行いました。

当院の外科は、消化器外科から呼吸器外科、乳腺外科まで幅広く診療しており、さらに緊急手術も多く、たくさんの事を学んで行きたいと思っております。

まだ経験が浅く、本格的に外科を学び始めたばかりの身でありご迷惑をかけることも多いかとは思いますが、一生懸命頑張りますのでご指導の程よろしくお願い致します。



## 整形外科

と がみ わか な  
砥 上 若 菜

2年間の初期臨床研修を終え、2006年熊本大学整形外科に入局致しました。ですので、整形外科としてはまだまだ研修2年目に過ぎません。先生方には多大なるご迷惑をお掛けする事も多いかと存じますが、『白圭尚可磨』の精神で頑張っていく所存ですので、何卒宜しくお願い致します。

## 最近のトピックス

### アルゴンプラズマ凝固法の導入について



消化器病センター

消化器科

押方 慎弥

消化管出血の内視鏡的止血法としてはクリップや留置スネア、静脈瘤に対する内視鏡的静脈瘤結紮術（以下 EVL）といった機械的閉鎖法、純エタノールや高張 Na エピネフリン、フィブリン接着剤等の局注法、高周波やヒータープローブ、アルゴンプラズマ（以下 argon plasma coagulation : APC）を用いた凝固止血法、トロンビンやアルギン酸 Na 等の薬剤散布法があります。これらの止血法にはそれぞれの特徴と利点、欠点があり、出血源や出血の程度をもとに検査医が症例毎に止血法を選択しますが、これまで当科で行っている止血法はクリップ法、純エタノール局注法、高周波凝固法、薬剤散布法および静脈瘤に対する EVL のみであり、広範囲からの湧出性出血に対しては止血に難渋することが多々ありました。

今回、4月から当科にも APC 装置としてオリンパス社製 ENDOPLASMA および高周波焼灼電源装置

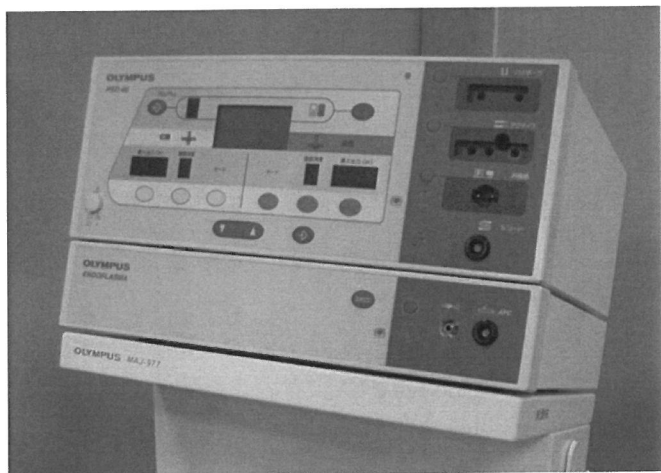


図1 オリンパス社製 ENDOPLASMA および高周波焼灼電源装置 PSD-60

PSD-60（図1）が導入され、既に大きな成果を挙げています。APC はアルゴンガスを噴射し、その流れに高周波アーク電流放電を重ねた非接触型高周波凝固法で、比較的広範囲に深度の浅い凝固、焼灼が得られるという特徴があり、組織障害が軽度で湧出性静脈出血や溢出性毛細血管出血（図2）等に効果が高いとされています。また、angiodyplasia や食道静脈瘤治療後の細血管を消失させる地固め療法にも非常に有効で、今後様々な症例への応用が期待されます。

昨年は1年間で約90例の緊急止血症例があり、止血率は98.8%でしたが、この APC 導入により更なる内視鏡的止血率の上昇を目指して頑張りたいと思います。



図2-a 放射線性直腸炎による毛細血管拡張症

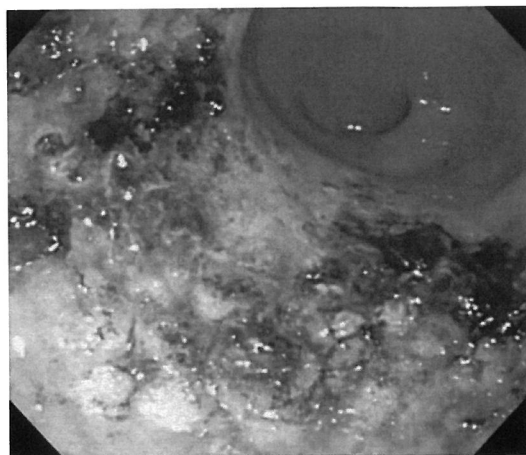


図2-b APC治療後

## 看護師再教育研修のご案内

看護学校は、毎年学生の夏期休暇を利用して、『看護師再教育』を行っています。『看護師再教育』の目的は看護師の免許を持っているにもかかわらず、さまざまな事情により仕事を中断したが、復帰の意志のある方に対しその手がかりとなるための支援をしようというものです。以前は看護協会により行われていたのですが、近年は中止されており、希望者は受講の機会が閉ざされていました。当校は2004年度よりこの研修を始め、今年は4年目となります。

本年は下記の要領で募集し、実施致しますのでご案内致します。

1週間の研修ではありますが、受講者からは「再就

職をしようと考えていても自信がなく迷っていたが、研修を受けて意欲が出てきた。」「社会復帰に向けて視野が広がった。」等の評価を頂いています。また、過去に受講された方は地域の病(医)院・福祉関係に再就職を果たされ、それぞれに活躍されています。再就職に関しましても各所からの情報を頂き、できる限り支援をしています。

今後とも、諸先生方のご支援のもと是非継続させていきたいと考えておりますので、よろしくお願い致します。

(国立病院機構熊本医療センター附属看護学校  
教育主事 安浪小夜子)



再教育のための実習風景

日 時 2007年7月16日(月)～7月20日(金)  
 研修内容 講義(医療・看護の動向、安全管理、感染管理、看護師に必要な薬剤の知識)  
 演習(看護技術の確認)、病棟実習  
 申込み期間 6月1日(金)～6月29日(金) 17:00まで  
 〈お問い合わせ先〉  
 国立病院機構熊本医療センター附属看護学校(担当荒木)  
 〒860-0008 熊本市二の丸1-5 TEL096-352-5691 E-mail: kokkans@ku.magma.ne.jp

## 楽しく学ぶ基礎看護技術講座のご案内

目的：安全で安楽な看護を提供するために必要な技術や、観察、判断、実践能力を高め、より質の高い看護サービスを提供する。

日時・内容：

開催日	テーマ	講師
6月30日(土) 10:00～12:00	病棟における患者急変時の看護 ～基本的な観察、処置介助・ケア～	救命救急センター医師
7月21日(土) 10:00～12:00	排尿困難のある患者の看護 ～尿道留置カテーテル挿入中のケア～	泌尿器科医師
8月11日(土) 10:00～12:00	経口摂取が困難な患者の看護 ～経管栄養施行中のケア～	消化器科医師
9月15日(土) 10:00～12:00	気管挿管を行っている患者の看護 ～口腔ケア・清拭・洗髪・更衣・体位の工夫～	看護師長

方法：①講義  
②デモンストレーション及び実習

対象：看護師

場所：国立病院機構熊本医療センター附属看護学校  
実習室

〈お申込み方法〉

往復葉書に①テーマ②受講希望者人数③所属病院名、住所、電話番号④代表者名をご記入の上、開催日の2週間前までに下記あてお送り下さい。

宛先：国立病院機構熊本医療センター看護部  
「楽しく学ぶ基礎看護技術講座」受付係



# 研修のご案内

## 第19回 熊本がんフォーラム (無料)

日時▶2007年6月6日(水)18:30~20:30

場所▶国立病院機構熊本医療センター 地域医療研修センター

司会 田中病院長 田中 英一

国立病院機構熊本医療センター耳鼻咽喉科医長 緒方 憲久

「頭頸部進行がんの治療」

〔問合せ先〕国立病院機構熊本医療センター 副院長 池井 聡 TEL 096-353-6501 (代表) FAX: 096-325-2519

## 第101回 月曜会 (無料)

(内科症例検討会)

〔日本医師会生涯教育講座3単位認定〕

日時▶2007年6月18日(月)19:00~20:30

場所▶国立病院機構熊本医療センター 地域医療研修センター

1. 呼吸器内科による胸部X線写真供覧

国立病院機構熊本医療センター呼吸器センター呼吸器内科医長 森松 嘉孝

2. 持ち込み症例の検討

3. 症例呈示「若年者肺塞栓症の1例」 国立病院機構熊本医療センター心臓血管センター循環器科 鈴木 達

4. ミニレクチャー「脳梗塞急性期治療の実際」

国立病院機構熊本医療センター脳神経センター神経内科医長 田北 智裕

日頃、疑問の症例、興味のある症例、X線写真、心電図等がございましたら、ご持参下さいますようお願い致します。

〔問合せ先〕国立病院機構熊本医療センター副院長 河野 文夫 TEL: 096-353-6501 (代表) FAX: 096-325-2519

## 第70回 三木会 (無料)

(糖尿病、高脂血症、高血圧を語る会)

〔日本医師会生涯教育講座3単位認定〕

〔日本糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位<2群>0.5単位認定〕

日時▶2007年6月21日(木)19:00~20:45

場所▶国立病院機構熊本医療センター 地域医療研修センター

1. 糖尿病性下痢の診断のもと長期にロベミンを投与された1例

国立病院機構熊本医療センター腎センター長 富田 正郎

2. クリティカルパスに基づいた妊娠糖尿病の治療成績

国立病院機構熊本医療センター総合医療センター内分泌・代謝内科 児玉 章子

3. 著明な動脈硬化をきたした糖尿病の1例

国立病院機構熊本医療センター総合医療センター内分泌・代謝内科医長 豊永 哲至

なお、興味のある症例、疑問・質問のある症例がございましたら、ご持参いただきますようお願い致します。

〔問合せ先〕国立病院機構熊本医療センター総合医療センター内科部長 東 輝一郎 TEL 096-353-6501 (代表) 内線705

## 第84回 救急症例検討会 (無料)

日時▶2007年6月27日(水)18:30~20:00

場所▶国立病院機構熊本医療センター 地域医療研修センター

症例検討「外傷」

国立病院機構熊本医療センター外科部長 片渕 茂

医師、薬剤師、看護師、診療放射線技師、臨床検査技師、栄養士、救急救命士、救急隊員、事務部門等全ての医療従事者を対象とした症例検討会です。医師以外の方にも理解できるよう配慮した内容にしています。

〔問合せ先〕国立病院機構熊本医療センター 地域医療研修センター事務局 TEL 096-353-6501 (代表) 内線263 096-353-3515 (直通)

## 第213回 初期治療講座 (会員制)

〔日本医師会生涯教育講座5単位認定〕

日時▶2007年6月30日(土)15:00~18:00

場所▶国立病院機構熊本医療センター 地域医療研修センター

「蛋白尿」

座長 熊本市医師会 川野 四郎

1. (血尿を伴わず)蛋白尿主体の腎障害

熊本大学医学部附属病院腎臓内科 江田 幸政

2. 血尿・蛋白尿をきたす腎障害

熊本市立熊本市市民病院腎臓科部長 中村 享道

3. 血尿や蛋白尿陰性の腎障害

国立病院機構熊本医療センター腎センター長 富田 正郎

この講座は有料で、年間10回を1シリーズ(年会費20,000円)として会費制で運営しています。但し、1回だけの参加を希望される場合は会費5,000円で参加いただけます。

〔問合せ先〕国立病院機構熊本医療センター 地域医療研修センター事務局 TEL 096-353-6501 (代表) 内線263 096-353-3515 (直通)

# 2007年 研修日程表 6月

国立病院機構熊本医療センター 地域医療研修センター

6月	研修ホール	会議室	その他
1日(月)			8:00 MGH症例検討会 C 16~18 泌尿器科病棟カンファレンス 別6 17~18 小児科カンファレンス 外来
2日(火)		18:00~19:30 血液病懇話会(図)	8:00 救急部カンファレンス C 15~18 外科術前後症例検討会 C
3日(水)	18:30~20:30 第20回 熊本がんフォーラム 「外来化学療法を取り組み」 司会 国立病院機構熊本医療センター内科部長 清川 哲志 国立病院機構熊本医療センター外来化学療法委員会		17:00 消化器疾患カンファレンス C
4日(木)	18:30~20:00 第86回 救急症例検討会 「腹痛」 ※9月26日変更分		7:50 整形外科症例検討会 C 17~19 循環器カンファレンス C 18~19 代謝内科カンファレンス C
5日(金)			8:00 消化器病研究会 C 8:00 麻酔科症例検討会 手 17~18 救急部カンファレンス C
9日(火)		18:00~19:30 血液病懇話会(図)	8:00 救急部カンファレンス C 15~18 外科術前後症例検討会 C 19~21 泌・放射線科合同ウログラム C
10日(水)			17:00 消化器疾患カンファレンス C
11日(木)			7:50 整形外科症例検討会 C 17~19 循環器カンファレンス C 18~19 代謝内科カンファレンス M
12日(金)		PWF RO' QOF RO F { n j * w Z p s b	8:00 消化器病研究会 C 8:00 麻酔科症例検討会 手 17~18 救急部カンファレンス C
15日(月)	19:00~20:30 第105回 月曜会(内科症例検討会) [日本医師会生涯教育講座3単位認定]		8:00 MGH症例検討会 C 16~18 泌尿器科病棟カンファレンス 別6 17~18 小児科カンファレンス 外来
16日(火)	18:00~19:30 第39回 くすりの勉強会(公開)	18:00~19:30 血液病懇話会(図)	8:00 救急部カンファレンス C 15~18 外科術前後症例検討会 C
17日(水)	13:00~17:00 糖尿病教室		12~13 糖尿病教室 研食 17:00 消化器疾患カンファレンス C
18日(木)	19:30~21:30 第47回 有病者歯科医療講演会 座長 前熊本市歯科医師会長 関 剛一 「歯科における感染対策」 N T T西日本九州病院臨床検査技術主任 江藤 雄史	19:00~20:45 第74回 三木会 (糖尿病、高脂血症、高血圧を語る会) [日本医師会生涯教育講座3単位認定] [日本糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位<2群>0.5単位認定]	7:50 整形外科症例検討会 C 17~19 循環器カンファレンス C 18~19 代謝内科カンファレンス M
19日(金)			8:00 消化器病研究会 C 8:00 麻酔科症例検討会 手 17~18 救急部カンファレンス C
20日(土)	14:00~16:00 第201回 滅菌消毒法講座《会員制》 「手術部の感染制御について」 出水総合医療センター中央手術室医長 竹下 次郎		
22日(月)			8:00 MGH症例検討会 C 16~18 泌尿器科病棟カンファレンス 別6 17~18 小児科カンファレンス 外来
23日(火)	18:30~20:30 血液研究班月例会	18:00~19:30 血液病懇話会(図) 19:00~21:00 小児科火曜会	8:00 救急部カンファレンス C 15~18 外科術前後症例検討会 C
24日(水)	19:00~20:30 第88回 総合症例検討会(CPC) [日本医師会生涯教育講座5単位認定] 「呼吸不全で入院し急速に多臓器不全をきたした一例」		17:00 消化器疾患カンファレンス C
25日(木)	18:30~21:00 日本臨床細胞学会熊本支部研修会	19:00~21:00 熊本脳神経疾患懇話会	7:50 整形外科症例検討会 C 17~19 循環器カンファレンス C 18~19 代謝内科カンファレンス M
26日(金)			8:00 消化器病研究会 C 8:00 麻酔科症例検討会 手 17~18 救急部カンファレンス C
27日(土)	15:00~18:00 第216回 初期治療講座《会員制》 [日本医師会生涯教育講座5単位認定] 座長 熊本県医師会理事 小林 秀正 「うつ病と自殺」 1. 国立病院機構熊本医療センターにおける自傷行為例についての検討 国立病院機構熊本医療センター精神科医長 山下 建昭 2. 精神科診療所におけるうつ病の診療について(自殺企図者への対応も含めて) くろかみ心身クリニック院長 本島 昭洋		
29日(月)			8:00 MGH症例検討会 C 16~18 泌尿器科病棟カンファレンス 別6 17~18 小児科カンファレンス 外来
30日(火)	19:00~20:30 熊本県臨床衛生検査技師会 一般検査研究班月例会	18:00~19:30 血液病懇話会(図)	8:00 救急部カンファレンス C 15~18 外科術前後症例検討会 C
31日(水)	19:30~21:00 臨床口腔外科研究会		17:00 消化器疾患カンファレンス C

(図) 図書室 C 病院本館2階カンファレンス 手術室控室 別6 別6病棟 外来 小児科外来 M 医局ミーティングルーム 研食 教育研修棟食堂  
問い合わせ先 〒860-0008 熊本市二の丸1番5号 国立病院機構熊本医療センター地域医療研修センター  
TEL 096-353-6501(代)内線263 096-353-3515(直通)